

(別紙)

成果の説明書

(氏名) 宮田 庸一	(学部) 経済学部
1 重要事項	
<b>研究報告 (国際学会)</b>	
[1] Yoichi, Miyata. Asymptotic Properties of Bayesian Type Estimators When It Is Not Assumed the Hessian Matrices of Contrast Functions Converge, Joint Statistical Meetings, 2014, Boston.	
[2] Yoichi MIYATA. The validity of Bayesian information criteria in misspecified models, Waseda International Symposium "Asymptotic Sufficiency, Asymptotic Efficiency and Semimartingale", March 2-4, 2015, Waseda University.	
<b>研究報告 (国内)</b>	
[3] 飯田正成, 宮田 庸一, 塩濱 敬之, GPU を用いたブートストラップ法に基づく有限混合分布のモデル選択, 2014 年度統計関連学会連合, 2014 年 9 月 13 日 ~ 9 月 16 日, 東京大学	
[4] 宮田庸一, ベイズ型推定量の漸近的な性質について, 日本数学会 2014 年度秋季総合分科会, 統計数学分科会特別講演, 2014 年 9 月 25 日 (木) ~ 9 月 28 日 (日), 広島大学	
[5] 宮田庸一, 一般化 BIC における最近の動向とその漸近的な性質について, 科研費シンポジウム「統計的推測の理論的基礎とその応用」, 2014 年 12 月 1 日 (月) ~ 12 月 2 日 (火), 筑波大学筑波キャンパス	
[6] 宮田庸一, モデルが誤特定された下でのベイズ型情報量規準の妥当性に関して, 6th Seminar on Time Series and Financial Engineering, 2015 年 3 月 7 日(土), 東京理科大学 森戸記念館第 2 フォーラム	
2 その他の事項	
(1) Waseda International Symposium (March 2-4, 2015) においてオーガナイザーを務めた.	
(2) オフィスアワーを自主的に設置し、学生から寄せられる数学、統計学、プログラム言語 R に関する質問に対応した	
(3) 国際セミナーでの研究報告： Yoichi MIYATA. Seminar on Mathematical Statistics, March 7 (Saturday), 2015, Waseda University,	
3 次年度以降の計画・抱負	
上記の[1]から[7]の内容を論文に纏める.	